

泉明寺宮司の

八坂神社のお話し

柏谷の夏祭りと言えば「おてんのうさん」。日枝神社の境内にお祀りしている八坂神社の祭典です。ご祭神である素戔鳴命(スサノヲノミコト)のお御霊(みたま)をお遷した神輿が柏谷区内を巡り渡ります。さて、長年受け継がれてきたこのお祭りについて、今日は少しでも丁寧にお話ししてみましよう。

まず、なぜ「おてんのうさん」と呼ばれているのか。それは、ご祭神の素戔鳴命が牛頭天王(ゴズテンノウ)と習合(同一視)されたからです。これはどちらも行疫神(疫病を流行らせる神)とされていたため、この行疫神を慰め和ませることで疫病を防ごうと大きな祭りを行いました。平安時代、京の都での事でその後日本全国各地に広がりました。

次に神話にみる素戔鳴命。高天の原(天上の国)で悪行三昧をつくり、姉の天照大御神(アマテラスオオミカミ)から追放されるほど猛々しく荒々しい性格を持っていますが、その後出雲の国に降り立った素戔鳴命はヤマタノオロチを退治し英雄となります。その若武者のようなお御霊が御輿に坐すわけですから、担ぎ手たちも雄々しく激しく動き回るので、

この神輿が神社を出て人々の住む街々を巡り、疫病をはじめ災厄や穢れを清めてゆきます。

では、なぜ神輿や担ぎ手に水をかけるのでしょうか。これには禊(みそぎ)の意味がこめられています。身体を洗いすすぐことで身についた凶事や罪穢れを除去



日枝神社の境内に七つの神社が入った「七社」があります。この七社の向かって右から2番目が「八坂神社」です。

して清めようという行為です。京都八坂神社の祇園祭では、鴨川から汲み上げた清めの水を榊に含ませ、神輿や人々に振りかけるという神事が行われています。夏の暑い盛りとはいえ、担ぎ手の皆さんは全身ずぶぬれで大変です。しかし、水も滴るいい男性たちの活躍を間近で感じることでできる私は眼福にあずかり光榮です。

少しずつ日が落ちていく中、沿道の方々の清めの水に迎えられ神輿は勇ましく巡ってゆきます。そして夜のとぼりが降りる頃には提灯の灯が幽玄な世界を醸し出し、やがて神様はまた静かに元の社に還ってゆかれます。日本人の心をふるわす古からの伝統行事である「おてんのうさん」をこれからも大切に、後世に伝えてゆきたいものです。



[日枝神社宮司 泉明寺みずほ]



日頃の防災対策の再確認をする参加者たち



消火器の取扱説明をする自衛消防隊の皆さん

8月27日(日)、柏谷区防災訓練が実施されました。柏谷区内では、41の組が防災訓練を実施し、計720人の区民が訓練に参加しました。訓練では、消火栓を使用した放水や避難場所までの避難訓練、消防設備の点検、危険箇所の確認などが、各組ごとに行われました。柏谷26組では、柏谷区自衛消防隊の指導の下、消火栓を使用するの消火訓練を行いました。また、消火器の取扱などについても知識を深めました。消防団OBも多い自衛消防隊の指導や説明は、丁寧で大変分かりやすく、地域



柏谷区防災訓練が実施されました。柏谷区内では、41の組が防災訓練を実施し、計720人の区民が訓練に参加しました。訓練では、消火栓を使用した放水や避難場所までの避難訓練、消防設備の点検、危険箇所の確認などが、各組ごとに行われました。

柏谷区防災訓練



消火訓練では、筒先にかかる水の力を体感しました。

ホースを仕舞うのも、訓練です。

30年ごとに行われている厳島神社例大祭(30年祭)が、平成30年3月11日(日)に挙行されます。これに合わせ、町主催の「百穴祭り(仮称)」も柏谷公園で同時に開催されます。お祭りの催しものなどについては、町と意見交換をしながら検討を行っていただく予定です。区民の皆様、来年の3月11日を楽しみにしてください。

厳島神社30年祭 来年3月11日(日)挙行



お天王さんの一週間



八坂神社の祭典は、御神輿ばかりが注目されがちですが、この祭典は一週間にわたって繰り広げられます。お天王さんの一週間の紹介いたします。

第1日目

さあ、いよいよお天王さんの始まりです。まずは、準備です。



神様をお迎えする準備が整ったところで遷座祭が執り行われます。



きまず。お涼みでは、にぎやかなしやぎりで祭りを盛り上げます。



第2日目〜第6日目

お涼みは、初日も入れると連続で6日の間、毎晩行われます。



第2日目



第3日目



第4日目



第5日目



第6日目

しゃぎり保存会の皆さん、連日の熱い演奏、お疲れ様でした！明日の御神輿もよろしく願います。

第7日目〜御神輿当日

いよいよ御神輿区内渡御の日を迎えました。朝から、準備が始まります。



御神輿に縄をからげる作業が、時間もかかって大変です。



御神輿が出来上がったところで準備完了です。皆で御神輿を囲んで記念撮影です。



日も傾いてきた頃、いよいよ御神輿が始まります。出発の神事の後、威勢のいい掛け声とともに、御神輿が区内へ繰り出しました。「区内渡御の様子は、前頁のとおりです。」

第8日目〜番外編

祭りの後は、片付けです。



片付け当番組の皆さん、来年もよろしく願います。

休憩所の自慢のあれっ!!!

御神輿渡御の道のりは、総延長8Kmを超えます。そこで、無くてはならないのが休憩所です。激しい練りの連続で疲れた担ぎ手達が、ここで一息つきます。それぞれの休憩所では、工夫を凝らしたおもてなしを用意しています。各休憩所の自慢のあれを、少しだけ紹介いたします。

【第1休憩所】 ジャージャーメン、とろろんが美味しかったです。

【第3休憩所】 濃厚な煮汁のしみ込んだいなり寿司、梅肉入りのかつ巻きが絶品でした。とうもろこしやトマトも美味しかったです。

【第5休憩所】 おにぎりがホッとすする美味しさでした。

【第2休憩所】 スイカがとても甘かったです。

【第4休憩所】 お寿司とサンドイッチはいつも楽しみです。キンキンに冷えた日本酒も美味しかったです。

【第6休憩所】 定番の「ゆで卵」を食べずしてお天王さんは語れませぬ。温かいお茶してくれまし。

小さな紙面ではとても紹介できませんが、この他にも美味しいものが山盛りでした。休憩所の皆さん、ありがとうございました。